

平成26年度当初予算案

主要事項説明資料

府民生活部

主要事項説明資料目次

府民生活部

ページ	事業名	担当課(室)
府民生活 1	犯罪被害者等支援活動推進費	安心・安全まちづくり推進課
2	防犯まちづくり推進事業費	安心・安全まちづくり推進課
3	海水浴場等安全対策推進費	安心・安全まちづくり推進課
4	ドメスティック・バイオレンス対策事業費	男女共同参画課
5	京の女性活躍応援事業費	男女共同参画課
6	マザーズジョブカフェ推進費	男女共同参画課
7	北京都ジョブパーク設置費	男女共同参画課
8	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)事業費	男女共同参画課
9	ひきこもり自立支援「チーム絆」事業費	青少年課
10	青少年再チャレンジ支援事業費	青少年課
11	地域力再生プロジェクト推進費	府民力推進課
12	NPO活動支援融資事業費	府民力推進課
共通 13	防災基盤特別強化事業費	共通
府民生活 14	原子力防災対策事業費	防災・原子力安全課
15	地域防災力づくり事業費	防災・原子力安全課
16	京都府地域防災計画改訂費	防災・原子力安全課
17	広域防災活動拠点充実費	防災・原子力安全課
18	スマート防災情報一元化事業費	防災・原子力安全課
19	わがまちの消防団強化・応援事業費	消防安全課
20	ふるさとレスキュー事業費	消防安全課
21	消費者あんしんサポート事業費	消費生活安全センター

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部
警察本部

事業名	犯罪被害者等支援活動推進費								
予算額	9,000千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣旨・目的 犯罪被害者支援コーディネーター及びサポートチームの活動や、(公社)京都犯罪被害者支援センターにおける相談・支援体制の充実、身体犯被害者の診断書料助成などを行い、総合的な被害者支援を図る</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所 管</th> <th>事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府民生活部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会復帰までのトータルなサポートを行う「犯罪被害者サポートチーム」の設置と「コーディネーター」の配置 ・ (公社) 京都犯罪被害者支援センターに対する支援フリーダイヤルによる電話相談 臨床心理士によるカウンセリング ・ 中高生等を対象に「いのちを考える教室」の開催 など </td> </tr> <tr> <td>警察本部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害など身体犯被害者への診断書料等の助成 ・ 被害直後の一時避難場所の確保等 </td> </tr> </tbody> </table>			所 管	事 業 概 要	府民生活部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会復帰までのトータルなサポートを行う「犯罪被害者サポートチーム」の設置と「コーディネーター」の配置 ・ (公社) 京都犯罪被害者支援センターに対する支援フリーダイヤルによる電話相談 臨床心理士によるカウンセリング ・ 中高生等を対象に「いのちを考える教室」の開催 など 	警察本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害など身体犯被害者への診断書料等の助成 ・ 被害直後の一時避難場所の確保等
所 管	事 業 概 要								
府民生活部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会復帰までのトータルなサポートを行う「犯罪被害者サポートチーム」の設置と「コーディネーター」の配置 ・ (公社) 京都犯罪被害者支援センターに対する支援フリーダイヤルによる電話相談 臨床心理士によるカウンセリング ・ 中高生等を対象に「いのちを考える教室」の開催 など 								
警察本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害など身体犯被害者への診断書料等の助成 ・ 被害直後の一時避難場所の確保等 								
担当課・ 担当名	安心・安全まちづくり推進課 警察本部警務課	企画担当 犯罪被害者支援室	課・担当 電話番号 075-414-5079 075-451-9111(内線2670)						

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部
警察本部

事業名	防犯まちづくり推進事業費										
予算額	24,800千円	新規・継続の別	継続(一部新規)								
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣旨 地域防犯活動の拠点「府民協働防犯ステーション」や地域を守る子ども見守り隊の活動支援などにより地域防犯力の向上を図る										
	2 内容										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 防犯まちづくり 推進事業費 (19,800千円) </td> <td> ①地域における防犯活動の推進 ・府民協働防犯ステーションの活動支援 ・「安心・安全まちづくりサポーター」の配置 ・企業の地域防犯活動への参画 ・子ども・地域安全見守り隊支援 ・「割れ窓理論」実践運動 (府民協働による街の落書き消し等) ・地域安全マップづくり ・「ヒヤリ・ハット情報」活用システム運用 ②人材育成 ・「わがまち安全推進員」養成 ・防犯ボランティア養成 ③府域全体への防犯意識向上 ・京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり 推進本部運営 ・「府民防犯の日」等普及啓発事業 </td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td> 府民パトロール 活性化事業費 (5,000千円) 【新規】 </td> <td> 府民協働防犯ステーションから提案されたパトロールの活性化につながる取組に対して助成することで、地域防犯パトロールを強化 </td> <td>警察本部</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内 容	所 管	防犯まちづくり 推進事業費 (19,800千円)	①地域における防犯活動の推進 ・府民協働防犯ステーションの活動支援 ・「安心・安全まちづくりサポーター」の配置 ・企業の地域防犯活動への参画 ・子ども・地域安全見守り隊支援 ・「割れ窓理論」実践運動 (府民協働による街の落書き消し等) ・地域安全マップづくり ・「ヒヤリ・ハット情報」活用システム運用 ②人材育成 ・「わがまち安全推進員」養成 ・防犯ボランティア養成 ③府域全体への防犯意識向上 ・京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり 推進本部運営 ・「府民防犯の日」等普及啓発事業	府民生活部	府民パトロール 活性化事業費 (5,000千円) 【新規】	府民協働防犯ステーションから提案されたパトロールの活性化につながる取組に対して助成することで、地域防犯パトロールを強化	警察本部	
項目	内 容	所 管									
防犯まちづくり 推進事業費 (19,800千円)	①地域における防犯活動の推進 ・府民協働防犯ステーションの活動支援 ・「安心・安全まちづくりサポーター」の配置 ・企業の地域防犯活動への参画 ・子ども・地域安全見守り隊支援 ・「割れ窓理論」実践運動 (府民協働による街の落書き消し等) ・地域安全マップづくり ・「ヒヤリ・ハット情報」活用システム運用 ②人材育成 ・「わがまち安全推進員」養成 ・防犯ボランティア養成 ③府域全体への防犯意識向上 ・京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり 推進本部運営 ・「府民防犯の日」等普及啓発事業	府民生活部									
府民パトロール 活性化事業費 (5,000千円) 【新規】	府民協働防犯ステーションから提案されたパトロールの活性化につながる取組に対して助成することで、地域防犯パトロールを強化	警察本部									
担当課・担当名	安心・安全まちづくり推進課 企画担当 警察本部生活安全企画課 犯罪抑止対策係	課・担当 電話番号	075-414-5079 075-451-9111(内線3411)								

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部
警察本部

事業名	海水浴場等安全対策推進費								
予算額	19,000千円	新規・継続の別	新規						
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣旨・目的 「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」 (平成26年2月定例会提案)を踏まえ、プレジャーボートと遊泳者等との事故防止のため、遊泳区域の明示や取締強化等を実施</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所 管</th> <th>事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府民生活部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊泳区域の明示等 事故防止のための標識等の設置 (遊泳区域を表示する標識及び利用者に対する注意喚起掲示版の設置) ・ 条例施行に係る周知・啓発 条例周知用ポスター・チラシ など </td> </tr> <tr> <td>警察本部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 警戒・取締の強化 警備艇及び水上バイクの警ら活動による警戒・取締(水上バイク、その他資機材等の整備) など </td> </tr> </tbody> </table>			所 管	事 業 概 要	府民生活部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊泳区域の明示等 事故防止のための標識等の設置 (遊泳区域を表示する標識及び利用者に対する注意喚起掲示版の設置) ・ 条例施行に係る周知・啓発 条例周知用ポスター・チラシ など 	警察本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警戒・取締の強化 警備艇及び水上バイクの警ら活動による警戒・取締(水上バイク、その他資機材等の整備) など
所 管	事 業 概 要								
府民生活部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊泳区域の明示等 事故防止のための標識等の設置 (遊泳区域を表示する標識及び利用者に対する注意喚起掲示版の設置) ・ 条例施行に係る周知・啓発 条例周知用ポスター・チラシ など 								
警察本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警戒・取締の強化 警備艇及び水上バイクの警ら活動による警戒・取締(水上バイク、その他資機材等の整備) など 								
担当課・ 担当名	安心・安全まちづくり推進課 企画担当 警察本部地域課 雑踏警備係	課・担当 電話番号	075-414-5079 075-451-9111(内線3531)						

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部
健康福祉部

事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業費		
予算額	14,731千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣旨・目的 家庭支援総合センター（配偶者暴力相談支援センター）を中心に市町村や関係機関の連携、協力のもと被害者の相談、保護、自立支援等を実施		
	2 内 容		
	区 分	内 容	所 管
	相 談 窓 口	<ul style="list-style-type: none"> ▶ DV相談支援センターを府南部・北部に設置 ▶ DV専用電話相談の実施 ▶ 夜間・休日相談の窓口設置 ▶ 婦人相談員の配置・研修（二次被害防止） ▶ 市町村相談員等に対する研修 ▶ 法律相談窓口の設置 	健康福祉部
	専門的指導の確保	▶ 心理療法士によるカウンセリング	健康福祉部
	一時保護機能	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 一時保護委託先の確保 ▶ 保育士の配置 ▶ 民間シェルターと連携・協力した被害者支援 	健康福祉部
	被害者の自立支援	▶ 自立支援グループワークの実施	府民生活部
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 通訳の派遣（外国人被害者への対応） ▶ 診断書料の給付（保護命令申立て、就職時の健康診断等） ▶ 被害者の地域生活を支援する「地域生活サポーター」の養成・活用 	健康福祉部
協力機関の連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議の運営 ▶ 生活保護等の円滑な適用 ▶ DV相談支援センター機能の広報啓発 	府民生活部 健康福祉部	
啓 発	<ul style="list-style-type: none"> ▶ DV啓発カードの作成・設置 ▶ 啓発講座 	府民生活部	
担当課・担当名	男女共同参画課 企画・推進担当 家庭支援課 家庭福祉担当	課・担当 電話番号	075-414-4291 075-414-4582

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	京の女性活躍応援事業費														
予算額	19,300千円	新規・継続の別	継続												
事業内容	<p>1 趣旨・目的 女性の活躍を応援し活力ある社会を実現するため、横断的なオール京都女性のネットワーク構築や人材育成事業等を実施</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京の女性活躍応援事業費 (1,300千円)</td> <td>オール京都女性による「京の女性活躍応援会議」を開催し、多様な団体の協働により、地域や職場で女性が活躍できる環境づくりに向けた課題抽出や取組を企画・実施</td> </tr> <tr> <td>働く女性活躍応援事業費 (6,000千円)</td> <td>企業における女性の就業継続やキャリアアップ（資格・能力等の修得）を支援するため、府内女性社員のネットワークを構築するとともに、モデルとなる先輩社員による後輩社員の支援を実施</td> </tr> <tr> <td>女性リーダー育成事業費 (6,000千円)</td> <td>女性リーダーの資質向上を図るため、「女性の船」による研修等を実施</td> </tr> <tr> <td>KYOのあけぼのフェスティバル開催費 (4,000千円)</td> <td>男女共同参画社会の実現のため、幅広い府民の参加と協働による「KYOのあけぼのフェスティバル」を開催 ・基調講演 ・ワークショップ開催 ・「京都府あけぼの賞」の授与</td> </tr> <tr> <td>京都女性起業家賞（アントレpreneur賞）事業費 (2,000千円)</td> <td>京都での新たなビジネスを提唱する女性からの提案を全国から公募し、女性の起業モデルとなる提案を顕彰するとともに事業化を支援</td> </tr> </tbody> </table>			項目	内容	京の女性活躍応援事業費 (1,300千円)	オール京都女性による「京の女性活躍応援会議」を開催し、多様な団体の協働により、地域や職場で女性が活躍できる環境づくりに向けた課題抽出や取組を企画・実施	働く女性活躍応援事業費 (6,000千円)	企業における女性の就業継続やキャリアアップ（資格・能力等の修得）を支援するため、府内女性社員のネットワークを構築するとともに、モデルとなる先輩社員による後輩社員の支援を実施	女性リーダー育成事業費 (6,000千円)	女性リーダーの資質向上を図るため、「女性の船」による研修等を実施	KYOのあけぼのフェスティバル開催費 (4,000千円)	男女共同参画社会の実現のため、幅広い府民の参加と協働による「KYOのあけぼのフェスティバル」を開催 ・基調講演 ・ワークショップ開催 ・「京都府あけぼの賞」の授与	京都女性起業家賞（アントレpreneur賞）事業費 (2,000千円)	京都での新たなビジネスを提唱する女性からの提案を全国から公募し、女性の起業モデルとなる提案を顕彰するとともに事業化を支援
項目	内容														
京の女性活躍応援事業費 (1,300千円)	オール京都女性による「京の女性活躍応援会議」を開催し、多様な団体の協働により、地域や職場で女性が活躍できる環境づくりに向けた課題抽出や取組を企画・実施														
働く女性活躍応援事業費 (6,000千円)	企業における女性の就業継続やキャリアアップ（資格・能力等の修得）を支援するため、府内女性社員のネットワークを構築するとともに、モデルとなる先輩社員による後輩社員の支援を実施														
女性リーダー育成事業費 (6,000千円)	女性リーダーの資質向上を図るため、「女性の船」による研修等を実施														
KYOのあけぼのフェスティバル開催費 (4,000千円)	男女共同参画社会の実現のため、幅広い府民の参加と協働による「KYOのあけぼのフェスティバル」を開催 ・基調講演 ・ワークショップ開催 ・「京都府あけぼの賞」の授与														
京都女性起業家賞（アントレpreneur賞）事業費 (2,000千円)	京都での新たなビジネスを提唱する女性からの提案を全国から公募し、女性の起業モデルとなる提案を顕彰するとともに事業化を支援														
担当課・担当名	男女共同参画課 企画・推進担当 ワーク・ライフ・バランス推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4291 075-692-3473												

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部
健康福祉部

事業名	マザーズジョブカフェ推進費																													
予算額	87,880千円	新規・継続の別	継続																											
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣旨・目的 子育てしながら働きたい女性やひとり親家庭の方などのニーズに応じて、就業と子育てをワンストップで支援する「マザーズジョブカフェ」を運営</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">窓口機能</td> </tr> <tr> <td>ママさんコンシェルジュ</td> <td>・一人ひとりの事情に応じる総合窓口機能と保育に関する相談・情報提供等</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>女性再就職支援コーナー</td> <td>・女性が安心して再就職又は新たに就職するための就業支援</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>ひとり親自立支援コーナー</td> <td>・ひとり親家庭の方の福祉相談及び就業相談</td> <td>健康福祉部</td> </tr> <tr> <td>安心ゆりかごサポート</td> <td>・就職活動中や就職決定後保育所が決まるまでの一時保育（最長1年）</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td colspan="3">再就職支援機能</td> </tr> <tr> <td>ママ再就職フェア</td> <td>・仕事と子育ての両立が可能な企業の出展による就職説明会等の開催</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>女性再就職支援事業【拡充】</td> <td>・再就職へ向けた、仕事と子育ての両立に役立つ情報の提供やパソコン講座 ・保育サービス付き企業内訓練（最長3箇月）等</td> <td>府民生活部</td> </tr> </tbody> </table>			項 目	内 容	所 管	窓口機能			ママさんコンシェルジュ	・一人ひとりの事情に応じる総合窓口機能と保育に関する相談・情報提供等	府民生活部	女性再就職支援コーナー	・女性が安心して再就職又は新たに就職するための就業支援	府民生活部	ひとり親自立支援コーナー	・ひとり親家庭の方の福祉相談及び就業相談	健康福祉部	安心ゆりかごサポート	・就職活動中や就職決定後保育所が決まるまでの一時保育（最長1年）	府民生活部	再就職支援機能			ママ再就職フェア	・仕事と子育ての両立が可能な企業の出展による就職説明会等の開催	府民生活部	女性再就職支援事業【拡充】	・再就職へ向けた、仕事と子育ての両立に役立つ情報の提供やパソコン講座 ・保育サービス付き企業内訓練（最長3箇月）等	府民生活部
	項 目	内 容	所 管																											
窓口機能																														
ママさんコンシェルジュ	・一人ひとりの事情に応じる総合窓口機能と保育に関する相談・情報提供等	府民生活部																												
女性再就職支援コーナー	・女性が安心して再就職又は新たに就職するための就業支援	府民生活部																												
ひとり親自立支援コーナー	・ひとり親家庭の方の福祉相談及び就業相談	健康福祉部																												
安心ゆりかごサポート	・就職活動中や就職決定後保育所が決まるまでの一時保育（最長1年）	府民生活部																												
再就職支援機能																														
ママ再就職フェア	・仕事と子育ての両立が可能な企業の出展による就職説明会等の開催	府民生活部																												
女性再就職支援事業【拡充】	・再就職へ向けた、仕事と子育ての両立に役立つ情報の提供やパソコン講座 ・保育サービス付き企業内訓練（最長3箇月）等	府民生活部																												
担当課・担当名	男女共同参画課 ワーク・ライフ・バランス推進担当 家庭支援課 母子・父子担当	課・担当 電話番号	075-692-3473 075-414-4584																											

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部
健康福祉部
商工労働観光部

事業名	北京都ジョブパーク設置費		
予算額	62,107千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨</p> <p>京都ジョブパーク北部サテライトとマザーズジョブカフェ北部サテライトを移転・統合し、若年者はもとより、中高年齢者や女性、さらには障害のある方など幅広い求職者に対して、相談から就労訓練、マッチング、定着支援までワンストップの支援体制を整備</p> <p>2 内 容</p> <p>(1)「北京都ジョブパーク」の設置 開設日：平成26年4月21日（予定） 設置場所：福知山市駅前町「市民交流プラザふくちやま」内</p> <p>(2)ワンストップ機能の強化</p> <p>①マザーズジョブカフェ北部サテライトとの統合 ・開設日・時間の拡充 ・「保育ルーム」の設置 ・「ひとり親家庭北部自立支援センター」の移転</p> <p>②「障害者就労相談窓口」の新設</p> <p>③ハローワーク機能の充実 オンラインによる求職者情報や職業紹介情報等の提供 等</p>		
担当課・担当名	男女共同参画課 ワークライフ・バランス推進担当 家庭支援課 母子・父子担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当	課・担当電話番号	075-692-3473 075-414-4584 075-682-8913

平成26年度当初予算案主要事項説明

府 民 生 活 部

事業名	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）事業費																
予算額	22,496千円	新規・継続の別	継 続														
事業内容 （目的） （対象） （方法等）	1 趣旨・目的 公労使一体で取り組む京都ワーク・ライフ・バランスセンターを拠点に、中小企業の取組支援や府民への啓発を実施することにより、仕事・生活・地域活動等が調和した府民生活の実現を図る																
	2 内 容																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">中小企業の取組支援</td> </tr> <tr> <td>ワーク・ライフ・バランス企業支援チーム</td> <td>社会保険労務士等が、中小企業のニーズに合わせ、必要な助成金・取組事例の情報提供や育児休業制度等の制度整備・運用等を支援</td> </tr> <tr> <td>中小企業経営者セミナー</td> <td>中小企業人財確保センターとの連携による中小企業経営者対象のセミナーを実施</td> </tr> <tr> <td>働き方の見直し支援事業</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会保険労務士等からなる「働き方の見直しアドバイザー」による業務診断・助言の実施 ▶ 在宅勤務などの多様な働き方を進めるモデル事業実施に係る経費を補助 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・対象経費 在宅勤務等に係るシステム構築費、機器整備・借上費 等 ・補助率 1/2 ・上記アドバイザー派遣を受けた中小企業の中から公募 </div> </td> </tr> <tr> <td>府民への啓発</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 就職活動中の若年者を対象に推進企業フェア（企業合同説明会）等を開催し、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進宣言・認証企業の情報を紹介 ▶ 大学生のためのキャリアデザイン塾（職業・生活設計のための塾）の開催 ▶ 地域において、ワーク・ライフ・バランスの理解を深める交流会の開催 </td> </tr> <tr> <td>センターの運営</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 京都ワーク・ライフ・バランスセンターの運営 ▶ 京都雇用創出活力会議ワーク・ライフ・バランス推進戦略本部会議の開催 </td> </tr> </tbody> </table>			項 目	内 容	中小企業の取組支援		ワーク・ライフ・バランス企業支援チーム	社会保険労務士等が、中小企業のニーズに合わせ、必要な助成金・取組事例の情報提供や育児休業制度等の制度整備・運用等を支援	中小企業経営者セミナー	中小企業人財確保センターとの連携による中小企業経営者対象のセミナーを実施	働き方の見直し支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会保険労務士等からなる「働き方の見直しアドバイザー」による業務診断・助言の実施 ▶ 在宅勤務などの多様な働き方を進めるモデル事業実施に係る経費を補助 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・対象経費 在宅勤務等に係るシステム構築費、機器整備・借上費 等 ・補助率 1/2 ・上記アドバイザー派遣を受けた中小企業の中から公募 </div> 	府民への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 就職活動中の若年者を対象に推進企業フェア（企業合同説明会）等を開催し、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進宣言・認証企業の情報を紹介 ▶ 大学生のためのキャリアデザイン塾（職業・生活設計のための塾）の開催 ▶ 地域において、ワーク・ライフ・バランスの理解を深める交流会の開催 	センターの運営	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 京都ワーク・ライフ・バランスセンターの運営 ▶ 京都雇用創出活力会議ワーク・ライフ・バランス推進戦略本部会議の開催
	項 目	内 容															
	中小企業の取組支援																
ワーク・ライフ・バランス企業支援チーム	社会保険労務士等が、中小企業のニーズに合わせ、必要な助成金・取組事例の情報提供や育児休業制度等の制度整備・運用等を支援																
中小企業経営者セミナー	中小企業人財確保センターとの連携による中小企業経営者対象のセミナーを実施																
働き方の見直し支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会保険労務士等からなる「働き方の見直しアドバイザー」による業務診断・助言の実施 ▶ 在宅勤務などの多様な働き方を進めるモデル事業実施に係る経費を補助 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・対象経費 在宅勤務等に係るシステム構築費、機器整備・借上費 等 ・補助率 1/2 ・上記アドバイザー派遣を受けた中小企業の中から公募 </div> 																
府民への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 就職活動中の若年者を対象に推進企業フェア（企業合同説明会）等を開催し、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進宣言・認証企業の情報を紹介 ▶ 大学生のためのキャリアデザイン塾（職業・生活設計のための塾）の開催 ▶ 地域において、ワーク・ライフ・バランスの理解を深める交流会の開催 																
センターの運営	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 京都ワーク・ライフ・バランスセンターの運営 ▶ 京都雇用創出活力会議ワーク・ライフ・バランス推進戦略本部会議の開催 																
担当課・担当名	男女共同参画課 ワーク・ライフ・バランス推進担当	課・担当電話番号	075-692-3473														

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部・商工労働観光部

事業名	ひきこもり自立支援「チーム絆」事業費																											
予算額	49,020千円	新規・継続の別	継続																									
事業内容	<p>1 趣旨・目的 社会問題化している青少年の「社会的ひきこもり」について、行政機関と民間支援団体が協働・連携し、ひきこもり当事者の自立と社会参加を促進するとともに、当事者を支える家族の負担を軽減し、家族の「安心と安らぎ」を確保する</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「チーム絆」による訪問支援</td> <td>訪問応援チーム「チーム絆」により、ひきこもり青少年の訪問支援を行い、早期回復や自立を支援</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>「絆パートナー」派遣事業</td> <td>ひきこもり経験者が自身の体験やアドバイスを伝えることで、当事者や家族の精神的負担を軽減</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ひきこもり支援職親事業</td> <td>回復期の支援</td> <td>ひきこもりの青少年を受け入れる事業所（職親）の募集及び認定を行い、就労体験活動を実施</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>就労自立期の支援</td> <td>ひきこもりの青少年を含む就職困難者に中間的就労の場を提供する企業を開拓、ジョブパーク等と連携して就労支援を行うことで一般就労を促進</td> <td>商工労働観光部</td> </tr> <tr> <td>ひきこもり支援ネットワーク推進事業</td> <td>NPO等民間支援団体と行政関係機関等との連携・協働を目的とする「京都府青少年の社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議」の運営等</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>ひきこもり専門相談窓口設置事業</td> <td>ひきこもり相談支援センターにおいて、専門相談（電話、面接）及び家族教室を実施</td> <td>健康福祉部</td> </tr> <tr> <td>支援情報ポータルサイト運営</td> <td>ひきこもり青少年、家族への支援情報等を発信するポータルサイトの運営</td> <td>府民生活部</td> </tr> </tbody> </table>			項目	内 容	所 管	「チーム絆」による訪問支援	訪問応援チーム「チーム絆」により、ひきこもり青少年の訪問支援を行い、早期回復や自立を支援	府民生活部	「絆パートナー」派遣事業	ひきこもり経験者が自身の体験やアドバイスを伝えることで、当事者や家族の精神的負担を軽減	府民生活部	ひきこもり支援職親事業	回復期の支援	ひきこもりの青少年を受け入れる事業所（職親）の募集及び認定を行い、就労体験活動を実施	府民生活部	就労自立期の支援	ひきこもりの青少年を含む就職困難者に中間的就労の場を提供する企業を開拓、ジョブパーク等と連携して就労支援を行うことで一般就労を促進	商工労働観光部	ひきこもり支援ネットワーク推進事業	NPO等民間支援団体と行政関係機関等との連携・協働を目的とする「京都府青少年の社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議」の運営等	府民生活部	ひきこもり専門相談窓口設置事業	ひきこもり相談支援センターにおいて、専門相談（電話、面接）及び家族教室を実施	健康福祉部	支援情報ポータルサイト運営	ひきこもり青少年、家族への支援情報等を発信するポータルサイトの運営	府民生活部
項目	内 容	所 管																										
「チーム絆」による訪問支援	訪問応援チーム「チーム絆」により、ひきこもり青少年の訪問支援を行い、早期回復や自立を支援	府民生活部																										
「絆パートナー」派遣事業	ひきこもり経験者が自身の体験やアドバイスを伝えることで、当事者や家族の精神的負担を軽減	府民生活部																										
ひきこもり支援職親事業	回復期の支援	ひきこもりの青少年を受け入れる事業所（職親）の募集及び認定を行い、就労体験活動を実施	府民生活部																									
	就労自立期の支援	ひきこもりの青少年を含む就職困難者に中間的就労の場を提供する企業を開拓、ジョブパーク等と連携して就労支援を行うことで一般就労を促進	商工労働観光部																									
ひきこもり支援ネットワーク推進事業	NPO等民間支援団体と行政関係機関等との連携・協働を目的とする「京都府青少年の社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議」の運営等	府民生活部																										
ひきこもり専門相談窓口設置事業	ひきこもり相談支援センターにおいて、専門相談（電話、面接）及び家族教室を実施	健康福祉部																										
支援情報ポータルサイト運営	ひきこもり青少年、家族への支援情報等を発信するポータルサイトの運営	府民生活部																										
担当課・担当名	(以下の事業以外) 青少年課 指導担当 (ひきこもり専門相談窓口設置事業) 障害者支援課 認定・精神担当 (就労自立期の支援) 総合就業支援室	課・担当 電話番号	青少年課：075-414-4305 障害者支援課：075-414-4732 総合就業支援室：075-682-8913																									

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部・教育委員会・警察本部

事業名	青少年再チャレンジ支援事業費														
予算額	162,467千円	新規・継続の別	継続（一部新規）												
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣旨・目的 非行少年の立ち直り支援や少年非行抑止を図るため、関係機関と一体となって総合的に少年非行対策を推進														
	2 内 容														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非行少年等立ち直り支援事業費 (24,972千円)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 立ち直り支援チーム（ユース・アシスト）が関係機関と連携し、少年一人ひとりに適した支援プログラムで実施する寄り添い型の支援 教員OBによる就学等支援 地域の民間団体と協働し、少年の学習支援や体験活動を行う「居場所」（ユース・コミュニティ）の設置・運営 【新規】 </td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>少年非行防止対策事業費等 (26,047千円)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> まなび・生活アドバイザーの配置 P T Aと連携したいじめ・非行防止キャンペーンの実施 生徒指導緊急指導教員の配置 事業者・住民・行政との協働による万引き・自転車盗等の抑止活動等を推進 サイバー補導等の実施 【新規】 </td> <td>教育委員会 警察本部</td> </tr> <tr> <td>少年非行抑止ネットワーク事業費 (111,448千円)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を行うためのスクールサポーターの配置 </td> <td>警察本部</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	内 容	所 管	非行少年等立ち直り支援事業費 (24,972千円)	<ul style="list-style-type: none"> 立ち直り支援チーム（ユース・アシスト）が関係機関と連携し、少年一人ひとりに適した支援プログラムで実施する寄り添い型の支援 教員OBによる就学等支援 地域の民間団体と協働し、少年の学習支援や体験活動を行う「居場所」（ユース・コミュニティ）の設置・運営 【新規】 	府民生活部	少年非行防止対策事業費等 (26,047千円)	<ul style="list-style-type: none"> まなび・生活アドバイザーの配置 P T Aと連携したいじめ・非行防止キャンペーンの実施 生徒指導緊急指導教員の配置 事業者・住民・行政との協働による万引き・自転車盗等の抑止活動等を推進 サイバー補導等の実施 【新規】 	教育委員会 警察本部	少年非行抑止ネットワーク事業費 (111,448千円)	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を行うためのスクールサポーターの配置 	警察本部	
	項 目	内 容	所 管												
非行少年等立ち直り支援事業費 (24,972千円)	<ul style="list-style-type: none"> 立ち直り支援チーム（ユース・アシスト）が関係機関と連携し、少年一人ひとりに適した支援プログラムで実施する寄り添い型の支援 教員OBによる就学等支援 地域の民間団体と協働し、少年の学習支援や体験活動を行う「居場所」（ユース・コミュニティ）の設置・運営 【新規】 	府民生活部													
少年非行防止対策事業費等 (26,047千円)	<ul style="list-style-type: none"> まなび・生活アドバイザーの配置 P T Aと連携したいじめ・非行防止キャンペーンの実施 生徒指導緊急指導教員の配置 事業者・住民・行政との協働による万引き・自転車盗等の抑止活動等を推進 サイバー補導等の実施 【新規】 	教育委員会 警察本部													
少年非行抑止ネットワーク事業費 (111,448千円)	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を行うためのスクールサポーターの配置 	警察本部													
担当課・担当名	青少年課 指導担当（立ち直り支援チーム） 教育委員会 学校教育課 指導第2担当 社会教育課 社会教育主事 警察本部 生活安全企画課 犯罪抑止対策室 少年課 少年サポートセンター	課・担当 電話番号	青少年課：075-531-6507 学校教育課：075-414-5840 社会教育課：075-414-5887 生活安全企画課：075-451-9111 （内線 3411） 少年課：075-451-9111 （内線 713-580）												

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部
商工労働観光部

事業名	地域力再生プロジェクト推進費															
予算額	343,688千円	新規・継続の別	継続													
事業内容	<p>1 趣旨・目的 地域課題の解決や新たな地域の魅力づくりのため、多様な主体が自主的に取り組む活動を支援し、地域力再生活動の府内全域での活発化を図る</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○市町村未来づくり交付金 (地域力再生交付金) (300,000千円) 【再掲】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 多様な地域力再生活動の特性に応じたきめ細やかな支援 ※多様な地域力再生活動を創出し、立ち上げ時をはじめ幅広く支援するとともに、公共性の高い活動の継続やソーシャル・ビジネスの取組を支援 </td> <td>府民生活部 商工労働観光部</td> </tr> <tr> <td>○公共空間活用推進事業 (地域普請) (20,000千円)</td> <td>▶ 地域の多様な主体が地域活性化事業を行うための「公共空間(道路や河川等)」を整備</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>○地域力再生支援事業 (23,688千円)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▶ パートナーシップセンターにコーディネーターを配置し、多様な主体による協働活動を支援 ▶ ボランティア希望者と活動団体を結びつける「地域力応援団」を運営 </td> <td>府民生活部</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	内 容	所 管	○市町村未来づくり交付金 (地域力再生交付金) (300,000千円) 【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 多様な地域力再生活動の特性に応じたきめ細やかな支援 ※多様な地域力再生活動を創出し、立ち上げ時をはじめ幅広く支援するとともに、公共性の高い活動の継続やソーシャル・ビジネスの取組を支援 	府民生活部 商工労働観光部	○公共空間活用推進事業 (地域普請) (20,000千円)	▶ 地域の多様な主体が地域活性化事業を行うための「公共空間(道路や河川等)」を整備	府民生活部	○地域力再生支援事業 (23,688千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ パートナーシップセンターにコーディネーターを配置し、多様な主体による協働活動を支援 ▶ ボランティア希望者と活動団体を結びつける「地域力応援団」を運営 	府民生活部
項 目	内 容	所 管														
○市町村未来づくり交付金 (地域力再生交付金) (300,000千円) 【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 多様な地域力再生活動の特性に応じたきめ細やかな支援 ※多様な地域力再生活動を創出し、立ち上げ時をはじめ幅広く支援するとともに、公共性の高い活動の継続やソーシャル・ビジネスの取組を支援 	府民生活部 商工労働観光部														
○公共空間活用推進事業 (地域普請) (20,000千円)	▶ 地域の多様な主体が地域活性化事業を行うための「公共空間(道路や河川等)」を整備	府民生活部														
○地域力再生支援事業 (23,688千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ パートナーシップセンターにコーディネーターを配置し、多様な主体による協働活動を支援 ▶ ボランティア希望者と活動団体を結びつける「地域力応援団」を運営 	府民生活部														
目的 対象 方法等																
担当課・担当名	府民力推進課 商業・経営支援課	地域力再生担当 ソーシャル・ビジネス支援担当	課・担当 電話番号	075-414-4452 075-414-4865												

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	NPO活動支援融資事業費												
予算額	1,772千円	新規・継続の別	継続										
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣旨・目的 地域の課題解決など公益活動に取り組むNPO法人の活動資金を融資することで、NPO法人が安定的かつ発展的に活動を継続できるよう支援</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 京都府・京都市協調で事業を実施 (利子補給負担 京都市内分 府1/2 京都市1/2 その他 府10/10)</p> <p>(2) 制度概要 「京都府府民の力応援基金」を活用したNPO法人向け融資「きょうとNPO支援連携融資制度」を京都市及び公益財団法人京都地域創造基金、金融機関との協働により実施</p> <table border="1" data-bbox="424 1368 1340 1709"> <thead> <tr> <th rowspan="2">融資 限度額</th> <th rowspan="2">融資 期間</th> <th rowspan="2">利率</th> <th>公益審査 (相談窓口)</th> </tr> <tr> <th>利子補給</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">500 万円</td> <td rowspan="2">5年 以内</td> <td rowspan="2">2%</td> <td>300万円まで 2% (実質無利子)</td> </tr> <tr> <td>300~500万円 1% (実質1%)</td> </tr> </tbody> </table>			融資 限度額	融資 期間	利率	公益審査 (相談窓口)	利子補給	500 万円	5年 以内	2%	300万円まで 2% (実質無利子)	300~500万円 1% (実質1%)
融資 限度額	融資 期間	利率	公益審査 (相談窓口)										
			利子補給										
500 万円	5年 以内	2%	300万円まで 2% (実質無利子)										
			300~500万円 1% (実質1%)										
担当課・担当名	府民力推進課 協働推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4211										

平成26年度当初予算案主要事項説明

(共 通)

事業名	防災基盤特別強化事業費		
予算額	28,543,505千円	新規・継続の別	継続(一部新規)
事業内容	<p>1 趣旨・目的 従来の防災対策をさらに向上させ、頻発する集中豪雨や南海トラフ等巨大地震の発生リスク等に備えた対策を実施</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 治水対策 ・平成25年台風第18号で甚大な被害のあった由良川、桂川等の国直轄河川改修等を推進 ・また、府管理河川について、平成25年台風第18号等の集中豪雨を踏まえ、今後10年間で床上浸水解消に向けた治水対策等を実施 　<河 川> 鴨川(京都市)、古川(宇治市、城陽市、久御山町)、相長川(福知山市) ほか 　<下 水> いろは呑龍トンネル(京都市、向日市、長岡京市) 　<砂 防> 中谷川(亀岡市)、地頭(舞鶴市) ほか 　<ため池> 早間池(綾部市) ほか 　<治 山> 湯船(和束町)、八津合町石橋(綾部市) ほか</p> <p>(2) 地震対策 早期に耐震化対策を完了すべき府立学校等の施設を重点的に実施 　<学 校> 鳥羽高校、西舞鶴高校 ほか 　<警 察> 綾部警察署、宮津警察署 　<病 院> 第二岡本総合病院(災害拠点病院) 　　　　　京都ルネス病院(2次救急病院) 　<橋りょう> 新綾部大橋(国道173号線)、開橋(枚方山城線) ほか</p> <p>(3) 危機管理体制の強化 住民避難場所等の機能向上や広域医療搬送拠点の整備等による危機管理体制の強化を実施 　・広域防災活動拠点の充実 　・市町村と共同の備蓄連携システムを構築 　・避難所体制の強化 　・災害ボランティアセンターの常設化</p>		
担当課名	政策企画部 情報政策課 府民生活部 防災・原子力安全課 文化環境部 文化環境総務課 健康福祉部 健康福祉総務課 農林水産部 農 政 課 建設交通部 監 理 課 教育委員会 総務企画課 警察本部 会 計 課	課・担当 電話番号	075-414-5961 075-414-4466 075-414-4183 075-414-4687 075-414-4948 075-414-5173 075-414-5708 075-451-9111(内2266)

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部・文化環境部・健康福祉部

事業名	原子力防災対策事業費										
予算額	424,429千円	新規・継続の別	継続								
事業内容 (目的対象方法等)	1 趣旨・目的 原子力災害時に原子力災害対策を重点的に実施すべき地域(PAZ・UPZ)の住民が円滑に避難できるよう、原子力防災計画に基づく広域避難訓練等を実施										
	2 内 容 <table border="1" data-bbox="400 804 1433 1348"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>事 業 概 要</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子力総合防災訓練実施事業費</td> <td> 原子力災害発生を想定し、府県域を超えた広域避難訓練の実施 ・他府県・関西広域連合・市町村との連携体制の確認 ・避難ルートの実地確認 </td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>各種維持管理等経費</td> <td> ①緊急時連絡網・SPEEDI 等 ②環境放射線モニタリングシステム ③緊急時放射線検査施設・安定ヨウ素剤 等 </td> <td> 府民生活部 文化環境部 健康福祉部 </td> </tr> </tbody> </table>			事 項	事 業 概 要	所 管	原子力総合防災訓練実施事業費	原子力災害発生を想定し、府県域を超えた広域避難訓練の実施 ・他府県・関西広域連合・市町村との連携体制の確認 ・避難ルートの実地確認	府民生活部	各種維持管理等経費	①緊急時連絡網・SPEEDI 等 ②環境放射線モニタリングシステム ③緊急時放射線検査施設・安定ヨウ素剤 等
事 項	事 業 概 要	所 管									
原子力総合防災訓練実施事業費	原子力災害発生を想定し、府県域を超えた広域避難訓練の実施 ・他府県・関西広域連合・市町村との連携体制の確認 ・避難ルートの実地確認	府民生活部									
各種維持管理等経費	①緊急時連絡網・SPEEDI 等 ②環境放射線モニタリングシステム ③緊急時放射線検査施設・安定ヨウ素剤 等	府民生活部 文化環境部 健康福祉部									
担当課・担当名	防災・原子力安全課 原子力安全担当 環境管理課 大気担当 医療課 地域医療担当	課・担当 電話番号	075-414-4473 075-414-4709 075-414-4744								

参考 原子力災害対策を重点的に実施すべき地域

○ PAZ(Precautionary Action Zone)

予防的防護措置を準備する区域(発電所からの距離、概ね5キロ)

○ UPZ(Urgent Protective action planning Zone)

緊急時防護措置を準備する区域(発電所からの距離、概ね30キロ)

※大飯発電所のUPZは概ね32.5キロ

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	地域防災力づくり事業費		
予算額	5,400千円	新規・継続の別	継続（一部新規）
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣旨・目的 府内各地における地域防災力の強化を図るため、市町村等関係機関と連携した防災教育や総合防災訓練の実施による防災意識の向上及び京都BCPの普及等を実施</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 防災教育・啓発の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災講演会等普及啓発 ・ 自主防災組織に対する研修 等 <p>(2) 災害ボランティアセンターの設置・運用研修等の開催</p> <p>(3) 総合防災訓練等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災関係機関の技能向上とともに、住民、学校、企業等も参加した京都府総合防災訓練の実施 ・ 広域災害発生時の後方支援活動の基地となる広域活動拠点における運用訓練の実施 <p>(4) 京都BCPの普及 【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関による推進会議を設置し、セミナー・図上演習等を実施 <p>参 考</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①BCP(事業継続計画:Business Continuity Plan)</p> <p>企業等が自然災害等緊急事態に遭遇した場合に、損害を最小限にとどめつつ、事業継続・早期復旧を可能とするための方法、手段などをあらかじめ取り決め、文書化したもの</p> <p>②京都BCP</p> <p>BCPの考え方を「京都」全体に適用し、各企業等によるBCPで自社を守るということだけではなく、地域全体で連携した対応により「京都」の活力を守るための方策</p> </div>		
担当課・ 担当名	防災・原子力安全課 計 画 担 当 対策・被災地応援担当	課・担当 電話番号	075-414-4475 075-414-4472

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	京都府地域防災計画改訂費		
予算額	1,300千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣旨・目的</p> <p>東日本大震災、府南部豪雨、平成25年台風第18号等の教訓及び南海トラフ地震の被害想定を踏まえ、京都府地域防災計画等を見直すことにより、府民のさらなる安心・安全を確保する</p> <p>2 内 容</p> <p>平成27年度開始となる次期戦略的地震防災対策推進プランの検討を行うほか、引き続き原子力防災対策や集中豪雨対策、京都BCP計画を検証する</p>		
担当課・担当名	防災・原子力安全課 計画担当	課・担当電話番号	075-414-4475

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部
健康福祉部

事業名	広域防災活動拠点充実費														
予算額	45,700千円	新規・継続の別	新規												
事業内容	<p>1 趣旨・目的 花折断層帯地震や南海トラフ地震等に備え、広域医療搬送拠点の整備等により、広域防災活動拠点の体制を強化する</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>事 業 概 要</th> <th>予算額 (千円)</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域防災活動 拠点の整備</td> <td>平成24年度に整備した3箇所の 拠点に加えて、京都御苑を新たな拠 点として活用する等、広域防災活動 拠点の連携及び機能強化を実施 〔平成24年度整備済み拠点 北部：京都舞鶴港 中部：丹波自然運動公園 南部・中核：山城総合運動公園〕</td> <td>11,700</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>広域医療搬送 拠点の整備</td> <td>①広域医療搬送拠点を整備し、広域 防災活動拠点の機能を強化 ②広域医療搬送に対応可能なDMAT 隊員の育成研修の実施</td> <td>34,000</td> <td>健康福祉部</td> </tr> </tbody> </table> <p>参 考</p> <p>①広域防災活動拠点 大規模災害時の自衛隊、警察、消防等防災関係機関の応援隊の集結や 全国からの救援物資の集配などの応急活動の拠点</p> <p>②広域医療搬送拠点（SCU：S<u>t</u>a<u>g</u>i<u>n</u>g C<u>a</u>r<u>e</u> U<u>n</u>i<u>t</u>） 大規模災害時に重症患者を他府県の医療施設へ搬送する際に設置する 臨時の医療拠点</p>			事 項	事 業 概 要	予算額 (千円)	所 管	広域防災活動 拠点の整備	平成24年度に整備した3箇所の 拠点に加えて、京都御苑を新たな拠 点として活用する等、広域防災活動 拠点の連携及び機能強化を実施 〔平成24年度整備済み拠点 北部：京都舞鶴港 中部：丹波自然運動公園 南部・中核：山城総合運動公園〕	11,700	府民生活部	広域医療搬送 拠点の整備	①広域医療搬送拠点を整備し、広域 防災活動拠点の機能を強化 ②広域医療搬送に対応可能なDMAT 隊員の育成研修の実施	34,000	健康福祉部
事 項	事 業 概 要	予算額 (千円)	所 管												
広域防災活動 拠点の整備	平成24年度に整備した3箇所の 拠点に加えて、京都御苑を新たな拠 点として活用する等、広域防災活動 拠点の連携及び機能強化を実施 〔平成24年度整備済み拠点 北部：京都舞鶴港 中部：丹波自然運動公園 南部・中核：山城総合運動公園〕	11,700	府民生活部												
広域医療搬送 拠点の整備	①広域医療搬送拠点を整備し、広域 防災活動拠点の機能を強化 ②広域医療搬送に対応可能なDMAT 隊員の育成研修の実施	34,000	健康福祉部												
担当課・ 担当名	防災・原子力安全課 調整・情報担当 医 療 課 地 域 医 療 担 当	課・担当 電話番号	075-414-4466 075-414-4744												

平成26年度当初予算案主要事項説明

政策企画部・府民生活部・警察本部

事業名	スマート防災情報一元化事業費														
予算額	49,200千円	新規・継続の別	新規												
事業内容	<p>1 趣旨・目的 災害発生現場の情報を迅速に共有し、災害対策本部において被害状況を的確に判断し、応急活動対応力を強化する</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>事 業 概 要</th> <th>予算額 (千円)</th> <th>所管部局</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害現場での被害状況発信・情報共有の強化</td> <td>直接災害現場から被害画像を送信し災害状況を共有するため、タブレット・スマートフォン機器等の整備及び専用アプリを開発</td> <td>47,100</td> <td>政策企画部 府民生活部</td> </tr> <tr> <td>府民からの情報受理態勢の強化</td> <td>災害等発生時等に府民からの提供画像を受信する「犯罪・災害画像通報システム」を構築</td> <td>2,100</td> <td>警察本部</td> </tr> </tbody> </table>			事 項	事 業 概 要	予算額 (千円)	所管部局	災害現場での被害状況発信・情報共有の強化	直接災害現場から被害画像を送信し災害状況を共有するため、タブレット・スマートフォン機器等の整備及び専用アプリを開発	47,100	政策企画部 府民生活部	府民からの情報受理態勢の強化	災害等発生時等に府民からの提供画像を受信する「犯罪・災害画像通報システム」を構築	2,100	警察本部
事 項	事 業 概 要	予算額 (千円)	所管部局												
災害現場での被害状況発信・情報共有の強化	直接災害現場から被害画像を送信し災害状況を共有するため、タブレット・スマートフォン機器等の整備及び専用アプリを開発	47,100	政策企画部 府民生活部												
府民からの情報受理態勢の強化	災害等発生時等に府民からの提供画像を受信する「犯罪・災害画像通報システム」を構築	2,100	警察本部												
（目的対象方法等）															
担当課・担当名	情報政策課 市町村共同化担当 防災・原子力安全課 調整・情報担当 警察本部 通信指令課 企画指導係	課・担当 電話番号	075-414-5761 075-414-5618 075-451-9111(内3615)												

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	わがまちの消防団強化・応援事業費		
予算額	130,000千円	新規・継続の別	継続（一部新規）
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣旨・目的 消防団員の確保等、消防団が実施する取組を支援し、安心安全な地域づくりを推進</p> <p>2 内 容</p> <p>（1）消防団の強化に向けた裾野拡大の新たな取組 【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員OB等の登録制度 活動内容：予防啓発や災害時の避難誘導等 ・女性団員新規登用交付金 対象事業：装備品や訓練・研修等 ・大学生の消防防災サークル支援 活動内容：救命講習やパトロール活動等 <p>（2）わがまちの消防団強化交付金 消防団の自主的な取組に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体：（公財）京都府消防協会 ・対象事業：地域での訓練や講習会、事業所への啓発、詰所等活動環境の改善 など <p>（3）地域防災力総合支援事業補助金 消防力確保のための消防団車両の整備などに対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体：市町村 ・対象事業：多機能型消防車 など <p>（4）消防団研修事業【隔年実施】 消防団幹部の資質向上を図るための研修会に対する支援</p>		
担当課・担当名	消防安全課 消防担当	課・担当 電話番号	075-414-4476

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	ふるさとレスキュー事業費										
予算額	4,000千円	新規・継続の別	継続								
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣旨・目的 府内中山間部のうち消防署から遠い地域※において、災害時などに救急難民が生じないように、消防団員等の地域住民が協力し、現地でいち早くけが人等の救助等を行う「ふるさとレスキュー」の立上げを支援する ※119番通報後、常備消防到着までに30分程度要する地域</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <tr> <td>活動主体</td> <td>地元消防団員と自主防災組織等地域住民 (地域の互助による仕組みづくり)</td> </tr> <tr> <td>主な活動</td> <td>地域住民の求めに応じた救助救出活動、 常備消防と連携した救急活動</td> </tr> <tr> <td>対象地域</td> <td>救急隊等の到着に時間を要する地域 (平成26年度 概ね4カ所)</td> </tr> <tr> <td>支援内容</td> <td>救助・救護活動用資機材(バール、担架、AED など)の整備や救助訓練、講習会の開催等</td> </tr> </table>			活動主体	地元消防団員と自主防災組織等地域住民 (地域の互助による仕組みづくり)	主な活動	地域住民の求めに応じた救助救出活動、 常備消防と連携した救急活動	対象地域	救急隊等の到着に時間を要する地域 (平成26年度 概ね4カ所)	支援内容	救助・救護活動用資機材(バール、担架、AED など)の整備や救助訓練、講習会の開催等
活動主体	地元消防団員と自主防災組織等地域住民 (地域の互助による仕組みづくり)										
主な活動	地域住民の求めに応じた救助救出活動、 常備消防と連携した救急活動										
対象地域	救急隊等の到着に時間を要する地域 (平成26年度 概ね4カ所)										
支援内容	救助・救護活動用資機材(バール、担架、AED など)の整備や救助訓練、講習会の開催等										
担当課・担当名	消防安全課 消防担当	課・担当 電話番号	075-414-4476								

平成26年度当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部・農林水産部・建設交通部

事業名	消費者あんしんサポート事業費				
予算額	180,737千円	新規・継続の別	継続		
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣旨・目的 様々な団体と連携した地域での消費者見守り活動の強化や消費生活相談の迅速な解決に向けた市町村相談窓口の支援等により、府民の安心・安全な消費生活を実現				
	2 内 容				
	項目		事業概要		所管
	地域に出かけるセンター、高齢者対策				
	高齢者等消費者被害防止強化事業費		<ul style="list-style-type: none"> 府民協働防犯ステーション等、様々な団体と連携した地域の見守り活動 二次被害防止のための高齢者宅等への訪問指導や架電啓発等 		府民生活部
	くらしの安心推進員1万人養成事業費		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者へのより丁寧な声かけや、地域からの早期通報促進のための推進員レベルアップ研修等を実施 		府民生活部
	市町村連携、消費者問題対応力強化				
	消費者問題対応力向上事業費		<ul style="list-style-type: none"> 市町村窓口の対応力強化を支援するための、地域別の被害分析や府全域のリアルタイムな相談情報共有 		府民生活部
	市町村相談センター支援事業費等		<ul style="list-style-type: none"> 「消費者あんしんチーム」による市町村相談のサポートやあっせん案の提示、市町村相談員の設置経費への助成等 		府民生活部
	隠れた被害の把握と拡大防止				
	悪質商法徹底撃退事業費		<ul style="list-style-type: none"> 食品表示の適正化に向けた指導強化 悪質事業者への早期警告・処分のための「地域110番」の実施 		府民生活部
	消費者教育の推進				
	消費者教育推進費		<ul style="list-style-type: none"> 「京都府消費者教育推進計画（仮称）」に基づく消費者教育の展開 		府民生活部
相談・検査体制の整備等					
きょうと「食の安心・安全」確保事業費等		<ul style="list-style-type: none"> 食品の安心・安全を確保するための食品検査や食品表示パトロール 無承認・無認可医薬品、健康食品等の販売店舗等の把握、監視指導 住宅に関する法律的・技術的な相談対応 		農林水産部 健康福祉部 建設交通部	
担当課・担当名	消費生活安全センター生活衛生課薬務課食の安心・安全推進課住宅課	企画・啓発担当 食品衛生担当 指導・啓発担当 食の安全担当 計画担当	課・担当 電話番号	075-671-0030 075-414-4773 075-414-4786 075-414-5654 075-414-5361	